



ArcGIS

ArcGIS Desktop
国内データ変換ツール一覧

10



内容

概要	2
データ フォーマット別変換ツール一覧.....	3
国土交通省.....	3
国土地理院.....	3
ゼンリン	4
OGC.....	4
その他	5

概要

ArcGIS Desktop 10 で提供している国内データ変換ツールをデータ フォーマットごとに一覧でご紹介します。変換ツールの入手方法は、大きく分けて 2 つあります。1 つは、ArcToolbox にある [変換ツール (国内データ)] ツールセットに含まれるジオプロセシング ツールを利用する方法です。このツールセットは「国内対応パック」をインストールすると利用できるようになります。

2 つめは、アドインをダウンロードし、インストールする方法です。アドインは以下の Esri 製品サポート ページからダウンロードできます。

<https://www.esri.com/support/esri/>

各種ツールの詳細な操作説明は、各ツールのヘルプをご参照ください。

データ フォーマット別変換ツール一覧

国土交通省

フォーマット	ツール名	ジオプロセシング	アドイン
DM/拡張 DM	DM → ジオデータベース	●	
地籍フォーマット 2000	地籍フォーマット 2000 → ジオデータベース	●	
河川基盤地図/河川環境情報地図/ ダム環境情報地図	河川地図データ対応ツール		●
国土数値情報 1/10 細分区画 土地利用データ	数値地図データ変換ツール		●

国土地理院

フォーマット	ツール名	ジオプロセシング	アドイン
数値地図 2500 (空間データ基盤)	数値地図データ変換ツール		●
数値地図 25000 (空間データ基盤)	数値地図データ変換ツール		●
数値地図 10000 (総合)	数値地図データ変換ツール		●
数値地図 500 万 (総合)	数値地図データ変換ツール		●
数値地図 25000 (行政界・海岸線)	数値地図データ変換ツール		●
数値地図 200000 (行政界・海岸線)	数値地図データ変換ツール		●
数値地図 2500 (土地条件)	数値地図データ変換ツール		●
数値地図 5000 (土地利用)	数値地図データ変換ツール		●
数値地図 5m メッシュ (標高)	数値地図データ変換ツール		●
数値地図 50m メッシュ (標高)	数値地図データ変換ツール		●
数値地図 250m メッシュ (標高)	数値地図データ変換ツール		●
数値地図 10m メッシュ (火山標高)	数値地図データ変換ツール		●

数値地図 1km メッシュ (標高/平均標高)	数値地図データ変換ツール		●
2m メッシュ標高データ (中越)	数値地図データ変換ツール		●
細密数値地図情報 (10m メッシュ土地利用)	数値地図データ変換ツール		●
数値地図 25000 (地図画像)	数値地図画像変換ツール		●
数値地図 50000 (地図画像)	数値地図画像変換ツール		●
数値地図 200000 (地図画像)	数値地図画像変換ツール		●
基盤地図情報 2500	基盤地図情報のインポート	●※1	
基盤地図情報 25000	基盤地図情報のインポート	●※1	
基盤地図情報 (測定の基準点)	基盤地図情報のインポート	●※1	
基盤地図情報 5m メッシュ (標高)	基盤地図情報のインポート	●※1	
基盤地図情報 10m メッシュ (標高)	基盤地図情報のインポート	●※1	
基盤地図情報 50m メッシュ (標高)	基盤地図情報のインポート	●※1	
基盤地図情報 250m メッシュ (標高)	基盤地図情報のインポート	●※1	

ゼンリン

フォーマット	ツール名	ジオプロセシング	アドイン
Zmap-AREAII (テキストデータ)	Zmap-AREAII 対応ツール		●
Zmap-TOWNII	Zmap-TOWNII 対応ツール		●

OGC

フォーマット	ツール名	ジオプロセシング	アドイン
OGC GML Simple Features	Quick Import	●※2	
OGC Web Feature service(WFS)	Quick Import	●※2	

その他

フォーマット	ツール名	ジオプロセシング	アドイン
SIMA (測量データ共通フォーマット)	SIMA → ジオデータベース	●	
G-XML 2.0	G-XML → ジオデータベース	●	
JMC マップ	数値地図データ変換ツール		●
SXF 3.0	SXF → ジオデータベース	●	

※1 [基盤地図情報のインポート] ツールは JPGIS 2.0、2.1 に対応しており、GML 形式には対応していません。

※2 [Quick Import] は Data Interoperability エクステンションをインストールすると使用できます。Data Interoperability エクステンションを利用するにはライセンスが必要になりますが、OGC GML Simple Features のインポート/エクスポート、OGC WFS のインポートに限り、ライセンス無しでもご利用になれます。[Quick Import] は [Data Interoperability Tools] ツールセットからアクセスできます。詳細は「FAQ:[OGC GML Simple Features、OGC WFS をインポートするには](#)」をご参照ください。

ArcGIS 10 に関するパッチやサービス パックが随時リリースされる場合があります。不具合などの重要な問題を修正する可能性がありますので、最新の情報については、以下の Web サイトを参照してください。

<http://www.esri.com/support/esri/>

※ESRI ジャパン サポート ページを参照するにはログインする必要があります。



ArcGIS Desktop 10 国内データ変換ツール一覧

2012年4月版

発行/編集 ESRI ジャパン株式会社

<http://www.esri.com/>

- ・ 本書の一部または全部を無断で転用または複製することを禁じます。
- ・ 本書に記載されている社名、商品名は、各社の商標および登録商標です。
- ・ 本書に記載されている内容は改良のため、予告なく変更される場合があります。
- ・ 本書の内容は参考情報の提供を目的としており、本書に含まれる情報はその使用先の自己の責任において利用して頂く必要があります。